

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	卒業研究 (Graduation Thesis)		
ナンバリングコード	L41206	大分類 / 難易度 科目分野	建築学科 専門科目 / 総合レベル 研究・資格・インターンシップ
単位数	6	配当学年 / 開講期	4年 / 通年
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	L120605	クラス名	西村研究室
担当教員名	西村 謙司		
履修上の注意、履修条件	指導教員の教育的指示に従うこと。 大学での学習の集大成として行う「研究」です。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	適宜、図書を紹介しますが、研究に有益な図書を見出す能力を育成することも卒業研究の課題の一つです。		
関連科目	各自の研究課題に関連する総ての科目		

○基本情報	
授業の目的	卒業研究は、大学4年間の集大成です。卒業研究では、自主的な取り組みはもちろんのことですが、能動的に問題意識をもち、発想し、それを発展させ、調査方法を発案し、調査し、調査結果を分析し、さらに分析結果から論理を構築し、成果としてまとめ上げ、第三者に対してわかりやすく発表するという、総合的な能力が問われます。 これまでに受講したすべての講義や実習を基礎とし、各自がもっとも興味を持つ分野を研究している教員を指導教員として選び、その指導のもとで卒業論文または卒業設計を完成させます。 指導内容は教員によって異なりますが、一般的に、はじめに卒業研究の概要の説明を受け、各自の取り組むテーマを設定し、設定したテーマについて予備研究を行い、指導教員のもとで、調査、観測、実験、解析、設計などの研究を自主的に行います。データの整理、検討を行い、あるいは設計図書をまとめ、卒業論文または卒業設計を期限までに仕上げ提出し、審査を受けます。
授業の概要	はじめに卒業研究の概要の説明を行い、各自の取り組むテーマを設定し、設定したテーマについて予備研究を行う。その後、指導教員のもとで、調査、観測、実験、解析、設計などの研究を自主的に行います。データの整理、検討を行い、あるいは設計図書をまとめ、卒業論文または卒業設計を期限までに仕上げ提出し、審査を受けます。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「演習形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3) アクティブ・ラーニング 「プレゼンテーション」
地域志向科目	カテゴリー I :ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目
実務経験のある教員による授業科目	該当しない

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	建築設計に関わっていく際に必要な社会的関心・意欲・態度を修得		20点	
【知識・理解】	建築設計に関する総合的知識の習得と応用		20点	
【技能・表現・コミュニケーション】	設計された建築物の内容をさまざまな表現媒体で適切に表現		20点	20点
【思考・判断・創造】	建築を創作することの意味をよく考えて設計計画にとりくむことができる。		20点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
学位取得にふさわしい内容とする。 学位取得にふさわしい発表とする。

○その他
フィードバックは適宜行います。

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	卒業研究 (Graduation Thesis) 西村 謙司	授業コード	L120605
学修内容				
1. 研究テーマの探求 1 卒業研究として取り組んでいく内容について協議します。				
予習	卒業研究のテーマに関して、既往事例の調査を行うこと。			約2時間
復習	卒業研究のテーマについて、既往事例を通して検討すること。			約2時間
2. 研究テーマの探求 2 卒業研究として取り組んでいく内容について協議します。				
予習	卒業研究のテーマに関して、既往事例の調査を行うこと。			約2時間
復習	卒業研究のテーマについて、既往事例を通して検討すること。			約2時間
3. 研究テーマの探求 3 卒業研究として取り組んでいく内容について協議します。				
予習	卒業研究のテーマに関して、既往事例の調査を行うこと。			約2時間
復習	卒業研究のテーマについて、既往事例を通して検討すること。			約2時間
4. 研究課題の選定 各自の取り組み姿勢とともに課題が選定されます。				
予習	卒業研究の課題設定のための予備調査。			約2時間
復習	卒業研究の課題設定に基づく方法の探求。			約2時間
5. 既往研究の調査 1 選定された研究課題に基づき、既往研究の調査を行います。				
予習	研究課題に関連する既往研究の調査。			約2時間
復習	研究課題の研究目的、方法の検討。			約2時間
6. 既往研究の調査 2 選定された研究課題に基づき、既往研究の調査を行います。				
予習	研究課題に関連する既往研究の調査。			約2時間
復習	研究課題の研究目的、方法の検討。			約2時間
7. 研究計画の策定 研究を進めていくための計画を立てます。				
予習	研究計画の策定のためのスケジュールの作成。			約2時間
復習	研究計画のスケジュールの設定。			約2時間
8. 研究対象の選定 1 研究を行うにあたって、個別の具体的な研究対象を選定します。				
予習	研究対象を限定するための予備調査。			約2時間
復習	研究対象の調査。			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	卒業研究 (Graduation Thesis) 西村 謙司	授業コード	L120605
学修内容				
9. 研究対象の選定 2 研究を行うにあたって、個別の具体的な研究対象を選定します。				
予習	研究対象の限定のための予備調査。			約2時間
復習	研究対象の調査。			約2時間
10. 研究方法の決定 研究対象を調査分析する方法を決めます。				
予習	研究対象の調査方法の予備検討。			約2時間
復習	研究対象の調査方法の設定と調査。			約2時間
11. 研究調査 1 研究調査を行います。				
予習	調査方法に基づく、研究調査。			約2時間
復習	調査方法に基づく、研究調査。			約2時間
12. 研究調査 2 研究調査を行います。				
予習	調査方法に基づく、研究調査。			約2時間
復習	調査方法に基づく、研究調査。			約2時間
13. 調査結果の分析 調査結果をまとめます。				
予習	研究調査結果をまとめ、発表するための準備。			約2時間
復習	研究調査結果のまとめ。			約2時間
14. 論文の作成 研究内容を論文にまとめていきます。				
予習	研究内容を論文にまとめる。			約2時間
復習	研究内容の再検討と、まとめ。			約2時間
15. 研究内容の発表 研究内容を発表します。				
予習	研究内容の発表準備。			約2時間
復習	研究内容の発表の反省。			約2時間
16. 研究の反省 研究活動をふり振り返り問題点を見出します。				
予習				
復習				